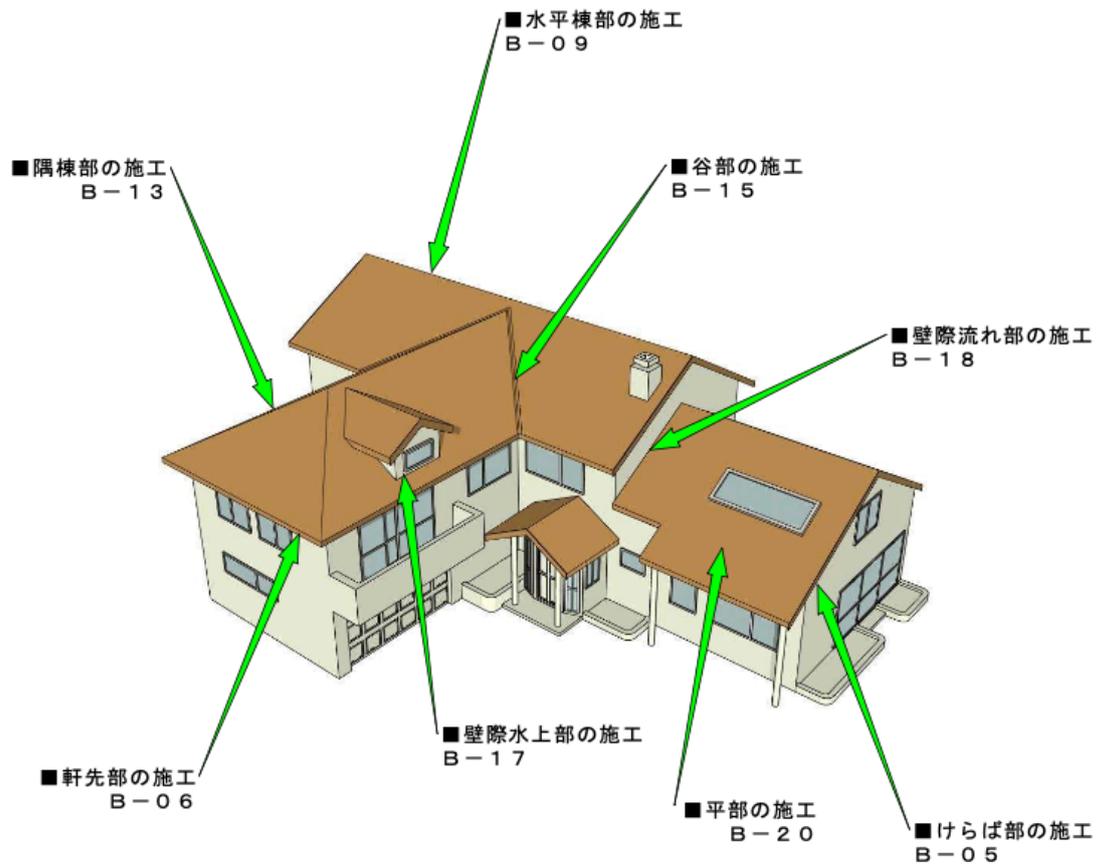
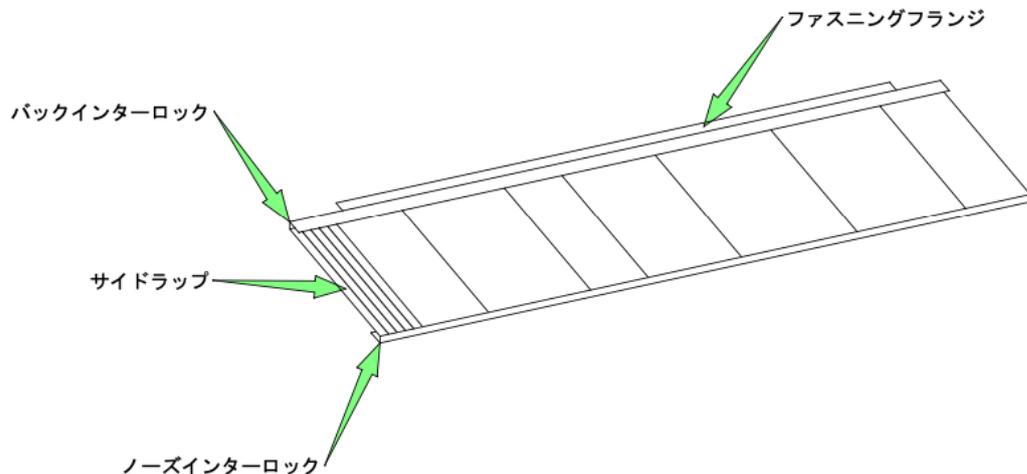


この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています。
テイルコア スレート用の施工要領です。



●建物各部の納まり





■パネルの特性■

- ・テイルコア スレートは唯一、ファスナー隠ぺいシステムとしてデザインされています。パネル全体に設けている、ファスニングフランジに専用ファスナーを取り付け、バックインターロックに上部パネル下部のノーズインターロックをかみ合わせることによって耐水性を形成し、同時にファスナーを隠すことが出来ます。（※ファスナーは必ず、専用ファスナーをお使いください。）

■屋根材の材質■

- ・テイルコア スレートはASTM (American Society for Testing and Materials) A792に定められたスチールに、ジンカリウム（アルミニウム55%+亜鉛43%+シリコン2%）をコーティングした材料で作られています。

■金属の腐食■

- ・金属の腐食（異種金属接触腐食）を防ぐため、テイルコア スレートを施工する際に、イオン化傾向の異なる金属を接して使用することは避けてください。

■天然石コーティング■

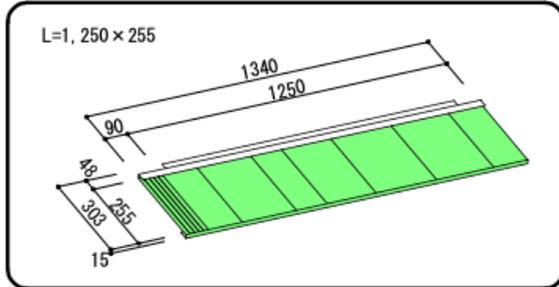
- ・テイルコアスレートの表面の石粒の小さなはがれ等は、タッチアップキットで補修することが出来ます。スプレー式のカラーペイントは決して使用しないでください。

■屋根の勾配■

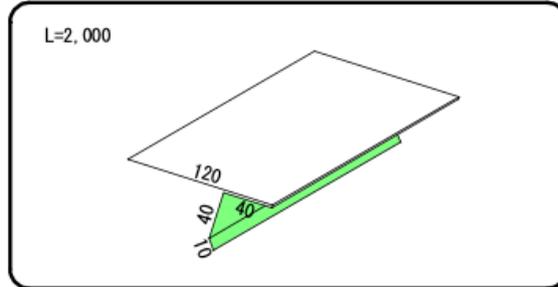
- ・テイルコアスレートは“3.5寸”勾配以上の屋根に設置することが可能です。



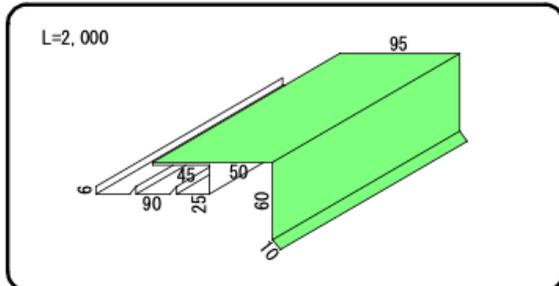
●テイルコア スレート部材リスト①



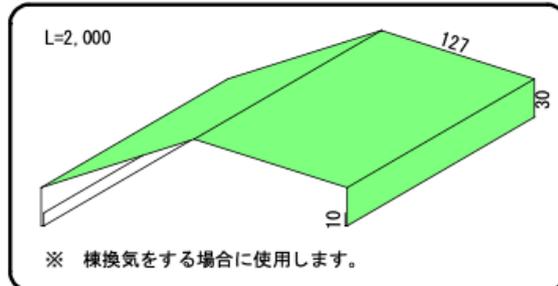
スレートパネル
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



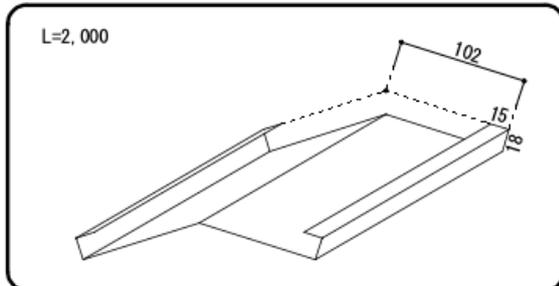
スレートスターター
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



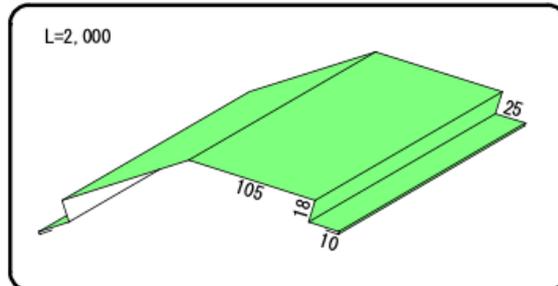
スレートバージチャンネル
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



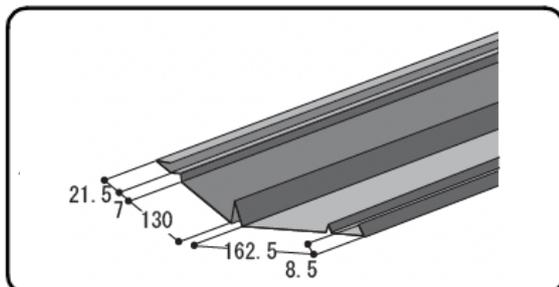
スレートリッジベンツキャップ
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



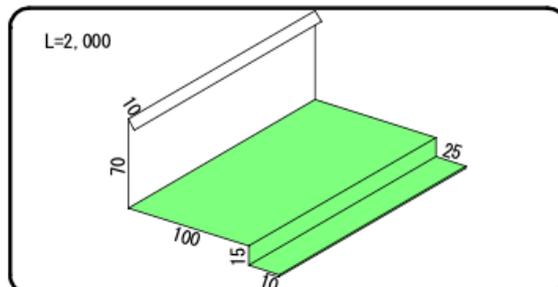
スレートリッジヒップアンダーフラッシング
ガルバリウム鋼板0.39ミリ



スレートリッジヒップスタンダードキャップ
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



W谷板
ガルバリウム鋼板0.39ミリ



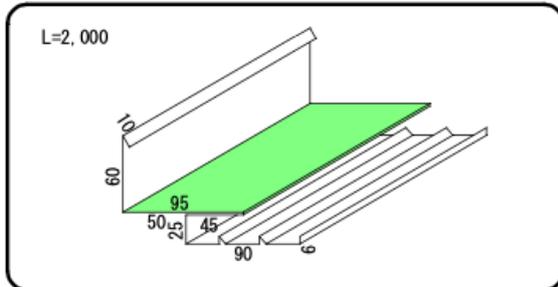
スレートサイドウォールチャンネル
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



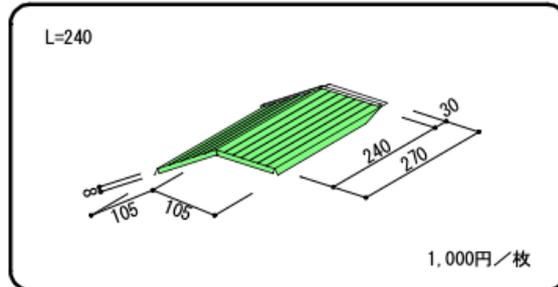
MYKE

ティルコア スレート 施工要領

●ティルコア スレート部材リスト②

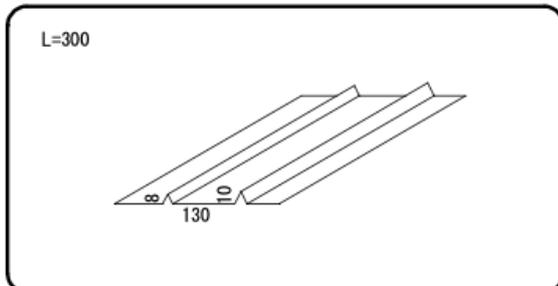


スレートサイドウォールチャンネル
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ



スレートトリムキャップ (オプション)
石粒付ガルバリウム鋼板0.39ミリ

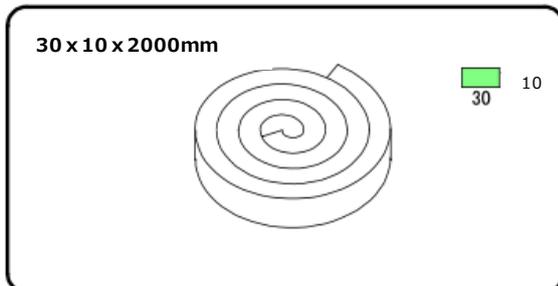
1,000円/枚



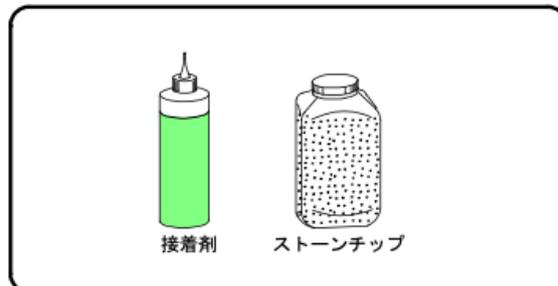
スレートバックアップ材
ガルバリウム鋼板0.35ミリ



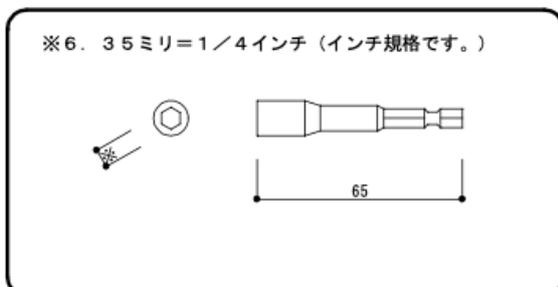
専用ファスナー (ワッシャー+EPDMパッキン付)
ダクロメッキ (頭部同色塗装)



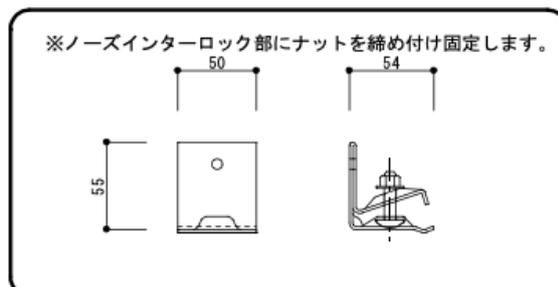
スレート用シールテープ
EPDM



スレート補修キット



専用ファスナー用ソケット



スレート用雪止め金具
※ノーズインターロック部にナットを締め付け固定します。

**●施工の注意****■野地板■**

- ・野地板には、構造用合板12ミリ以上を使用することを推奨します。

■アスファルトルーフィング■

- ・アスファルトルーフィングはJIS A6005（アスファルトルーフィングフェルト）に適合するアスファルトルーフィング940以上又は改質アスファルトルーフィング下ぶき材を推奨します。

■小屋裏の換気■

- ・地の法律に規定された小屋裏の換気量を確保することをお勧めします。軒裏換気又は棟換気の基準に達する適切な方式を採用することが出来ます。

■保管方法■

- ・テイルコアスレートは、耐候性カバーで覆うか、又は湿度の低い屋内に保管してください。

■シーリング■

- ・テイルコアスレートに使用するシーリング剤は、外部用のウレタン系シーリングを使用してください。（捨て板のジョイント等、直接外気に触れない部分には、シリコン系シーリングを使用することも可能です。）

■パネルの切断■

- ・パネルの切断にディスクグラインダーは使用しないでください。（飛散した鉄粉から錆びが発生します。やむを得ずディスクグラインダーを使用する場合は、必ず“地上”で十分な養生をした環境で行ってください。）
- ・パネルの切断にはハサミ類、又は押し切り（ギロチン）を使用することをお勧めします。（ハサミ等でパネルを切断すると、切断面が“閉じる”のでジンカリウム鋼板の“錆びにくい”特性を維持することが出来ます。しかし、ディスクグラインダーを使用すると切断面が“荒れる”ため錆びが発生する可能性があります。）

■専用ファスナー用ソケット■

- ・テイルコアスレート用ファスナーはインチ規格ですので、国産のソケットは使用できません。必ず専用ソケットを準備する必要があります。

■専用ファスナーの長さ■

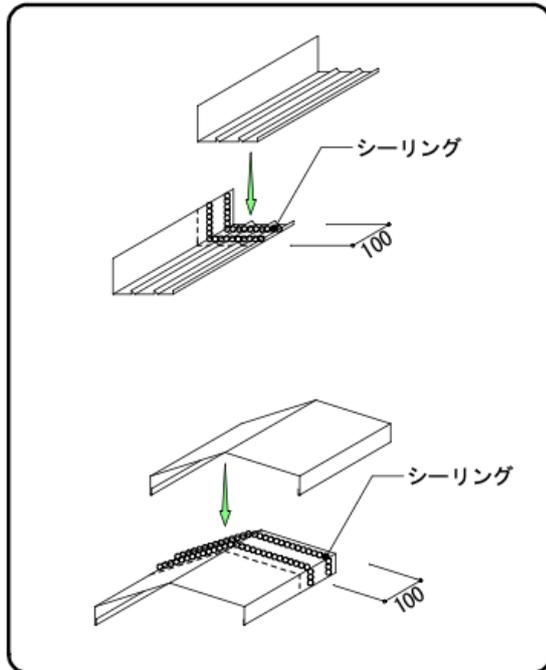
- ・一般地では専用ファスナーは38ミリのみを使用することを原則とします。
- ・寒冷地では専用ファスナーは、本体パネルを野地板等に取り付ける場合には**75**ミリ、捨て板等を取り付ける場合には38ミリを使用することを原則とします。

■材料・工具等■（下記は現地にて準備してください。）

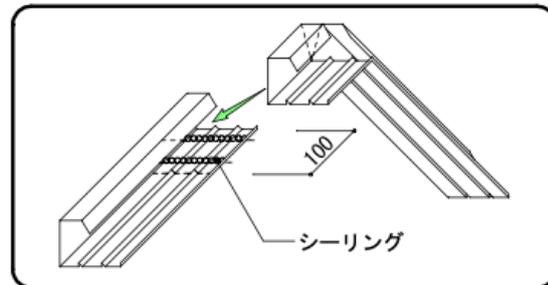
- アスファルトルーフィング ●木下地 ●ステンレスコーススレッド ●吊子（現場加工）
- 防水テープ ●インパクトドライバー ●ハサミ（スニップス）類 ●つかみ（シーマー）類
- シーリング剤 ●コーキングガン ●保護手袋



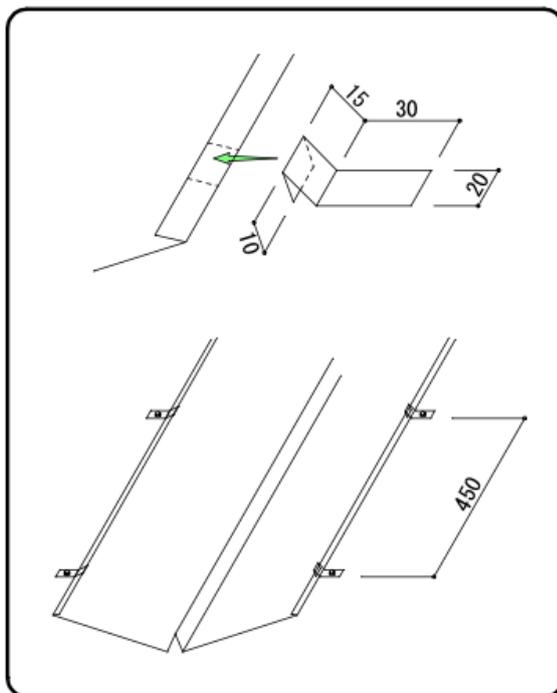
● 共通事項：継ぎ部分



- ・捨て板、役物等の継ぎ部分は、100ミリ以上の重ねしろを設け、その中に二列のシーリング（シリコンでもよい）を挟み込んで止水します。

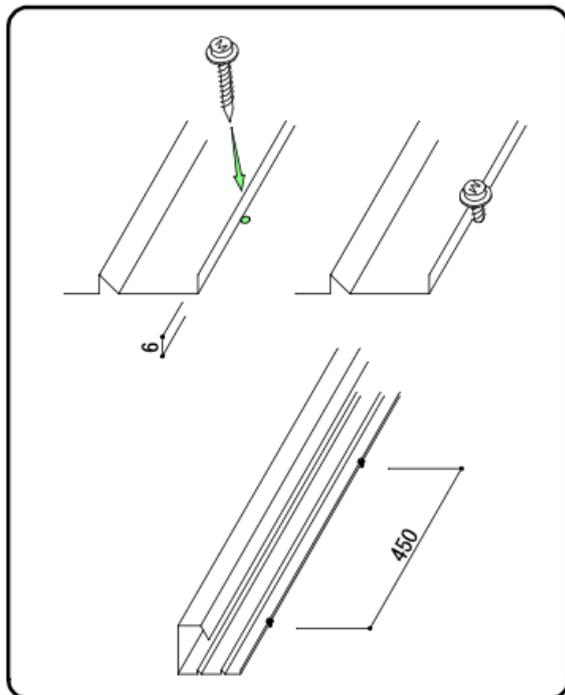


● 共通事項：捨て板吊り子止め



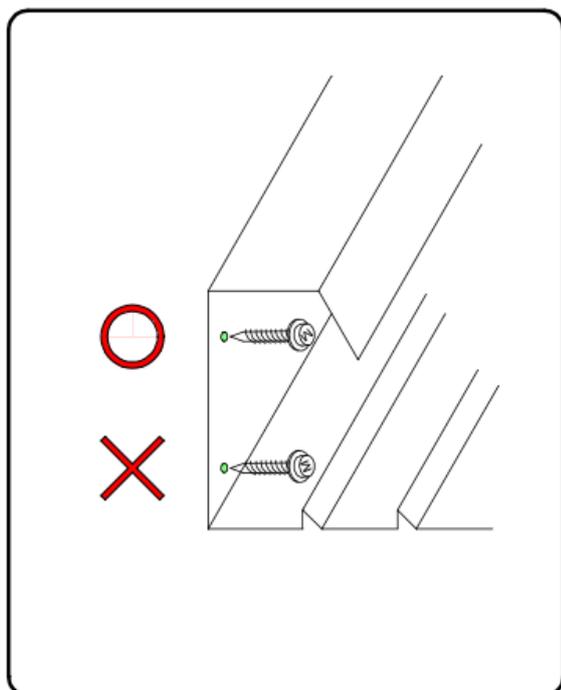
- ・捨て板で水返しの立ち上がりが10ミリ、または15ミリのものを取り付ける場合は、吊り子を使います。
- ・吊り子は現場にて、捨て板等の端材を利用して製作してください。
- ・吊り子の山の部分で、捨て板の水返しの部分を挟みこみ、ペンチ等でカシメて取り付け、専用ファスナーで野地板に固定します。
- ・吊り子は捨て板に450ミリピッチで取り付けます。

● 共通事項：捨て板ファスナー留め①



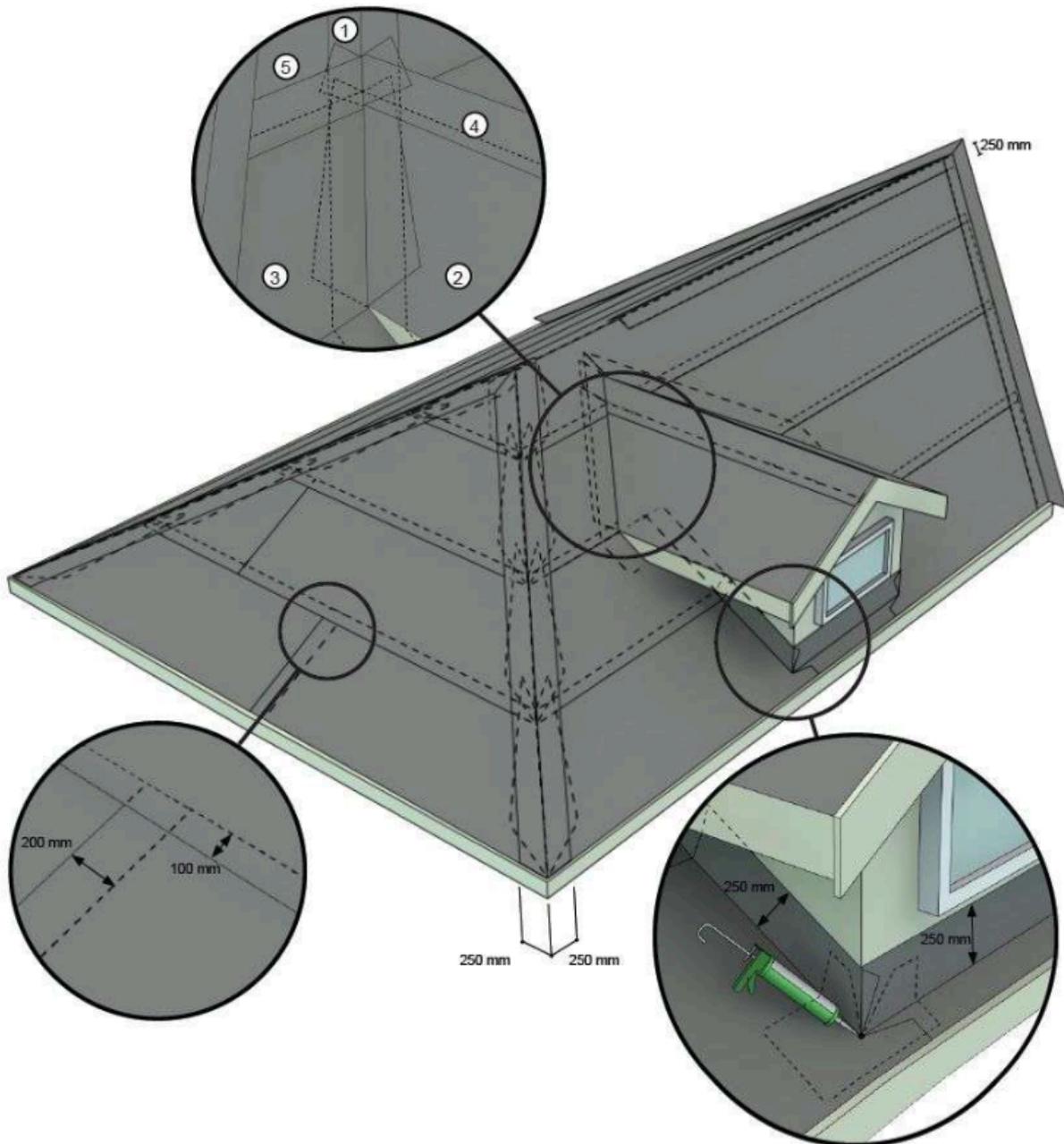
- ・捨て板で水返しの立ち上がりが直角で6ミリのものを取り付ける場合は、専用ファスナーを使います。
- ・専用ファスナーを、捨て板の水返しに接する位置に打ち込み、専用ファスナーのワッシャー部分を水返しに押し付けるように固定します。
- ・専用ファスナーは捨て板に450ミリピッチで取り付けます。
- ・専用ファスナーは、捨て板の内側には決して打ち込まないでください。（漏水の可能性あります。）

● 共通事項：捨て板ファスナー留め②



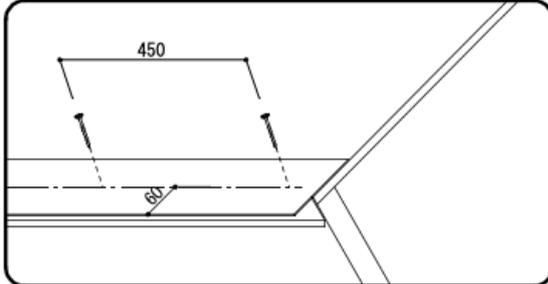
- ・捨て板の壁側（木下地側）の立ち上がり部分へ、専用ファスナーを打ち込む場合は、出来るだけ高い部分へ打ち込んでください。

● 共通事項 : アスファルトルーフィングの貼り付け



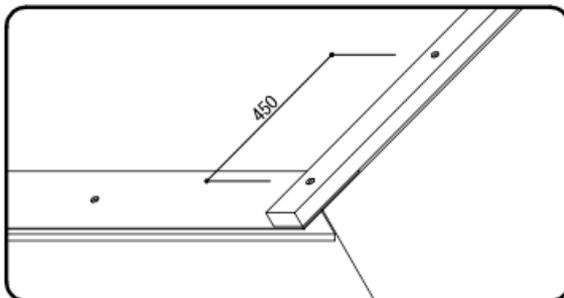


●軒先部：スレートスターターの取付け



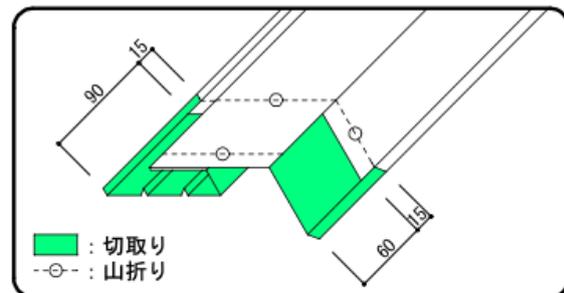
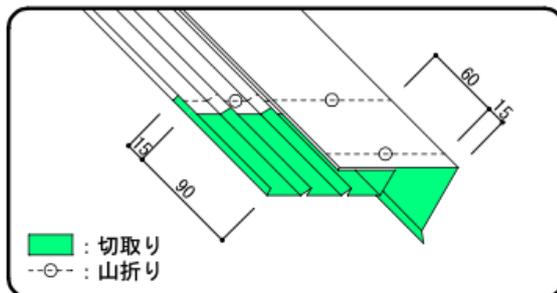
- ・軒先部にスレートスターターを、450ピッチのステンレスコーススレッドで、野地板に固定します。

●けらば部：木下地の取付け

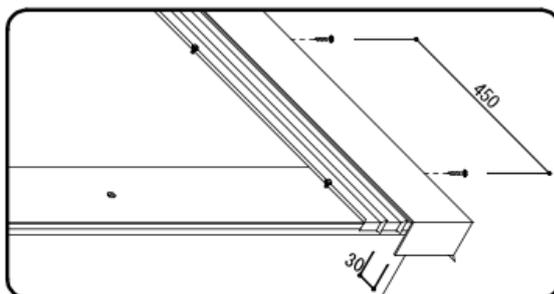


- ・けらば部分に木下地45×24を、450ミリピッチのステンレスコーススレッドで、野地板に固定します。

●けらば部：スレートバージチャンネルの加工



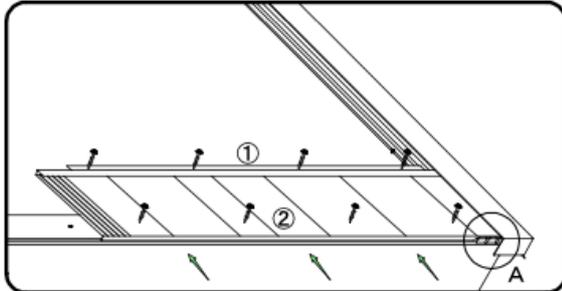
●けらば部：スレートバージチャンネルの加工



- ・軒先部を箱型に加工したスレートバージチャンネルを木下地にかぶせるようにはめ込み、450ミリピッチに専用ファスナーで固定する。



●平部：スレートパネルの取付1列目

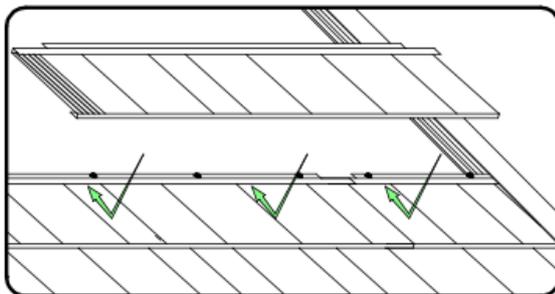


テイルコア スレートは下から上へ、右から左へ順に取り付けます。

1列目のパネルはノーズインターロックをスターターの先端に引っ掛け、ファスニングフランジを4本の専用ファスナーで野地板に固定します。

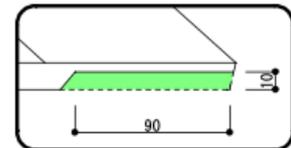
次にパネルの先端部分を4本の専用ファスナーで野地板に固定します。

●平部：スレートパネルの取付2列目以降

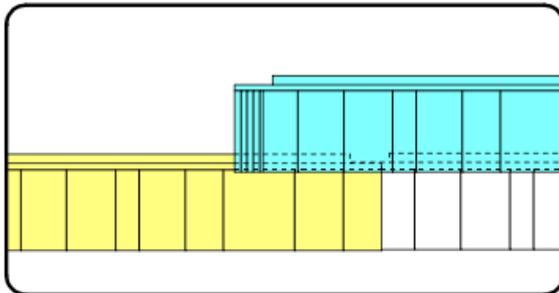


2列目以降のパネルはノーズインターロックを下パネルのバックインターロックに引っ掛け、ファスニングフランジを4本の専用ファスナーで固定します。

A部のノーズインターロックは右図のように欠き取り、水が抜けるようにします。



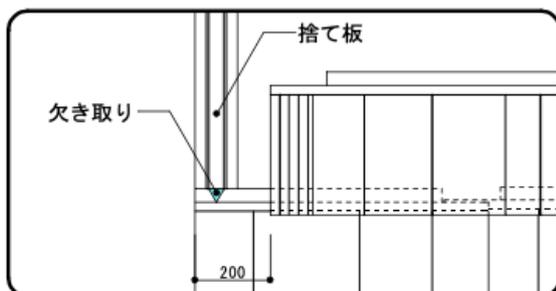
●平部：スレートパネルのレイアウト



1列目のパネルの取り付け後、2列目以降はサイドラップ部分が上下で一致するのを防ぐため、乱貼りで取り付けます。

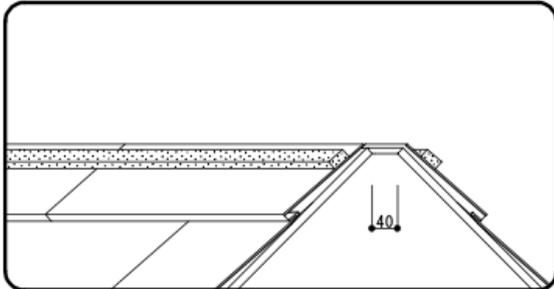
専用ファスナーは、スレートパネル1枚当たり、最低4本以上使用します。

●平部：スレートパネルの端部

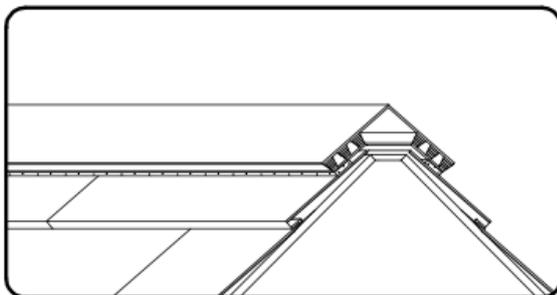


スレートパネルのファスニングフランジが、捨て板と重なる部分は、ファスニングフランジをVの字に欠き取りファスニングフランジの上を水が流れるのを防ぎます。

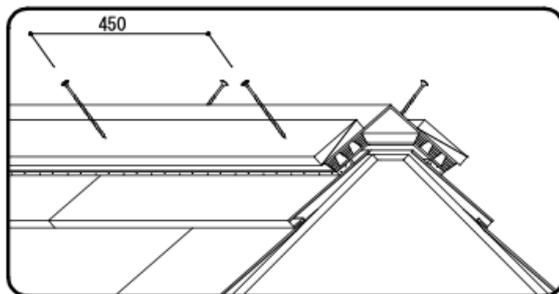
乱貼りのパターンは、端部のパネルの長さで調整します。(最低200ミリ以上)

**● 水平棟部：シールテープの取付け**

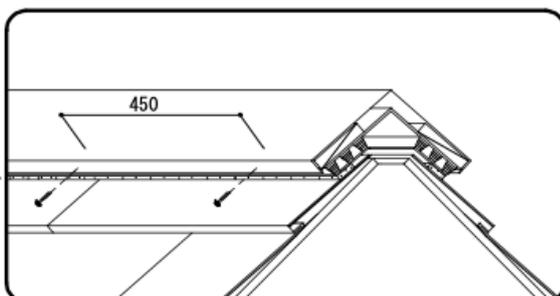
- ・ 水平棟部分の野地板に通気のために、40ミリ程度のすき間をあけます。
- ・ 棟用換気材の巾に合わせて、シールテープ30×15を、水平棟をはさんで両側に貼り付けます。

● 水平棟部：棟用間機材の仮止め

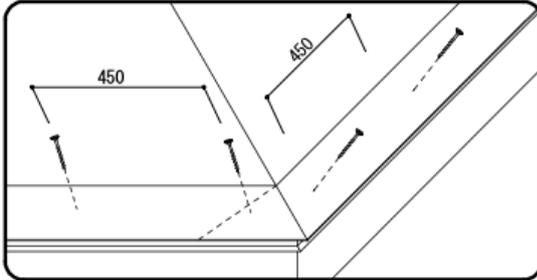
- ・ 棟用換気材を最上段のスレートパネルの角度に正しく合わせ、さらに水平棟のセンターからずれないように注意しながら仮止めします。

● 水平棟部：木下地の取付け

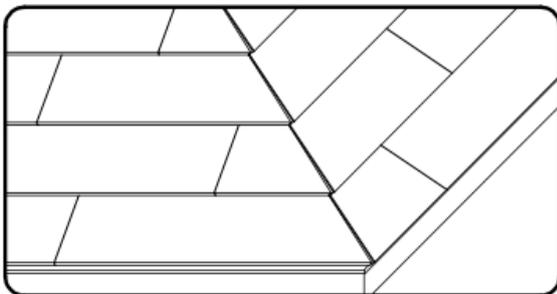
- ・ 棟用換気材の上に木下地18×89を、棟をはさんで両側に450ミリピッチのステンレスコーススレッドで固定します。

● 水平棟部：シールテープの貼り付け

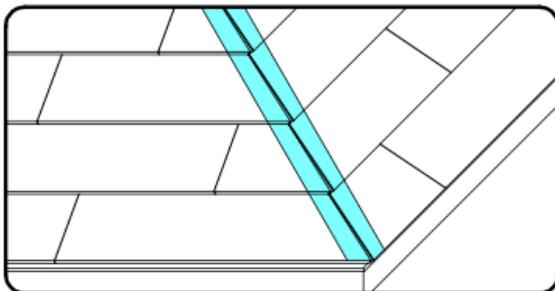
- ・ スレートリッチベンツキャップを木下地の上にかぶせるようにはめ込み、450ミリピッチの専用ファスナーで左右から固定します。

**● 隅棟部：スレートスターターの取付け**

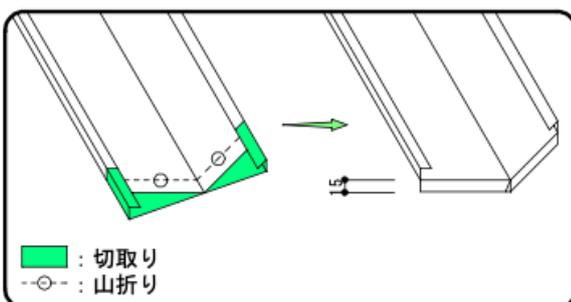
- ・軒先部にスレートスターターを、450ピッチのステンレスコーススレッドで、野地板に固定します。

● 隅棟部：スレートパネルの取付け

- ・隅棟のセンターラインに合わせて、両側のスレートパネルをカットし取り付けます。

● 隅棟部：防水テープの貼り付け

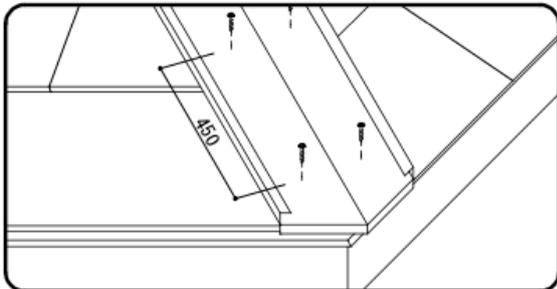
- ・隅棟のセンターラインに正確に合わせて、防水テープ巾100を貼り付けます。

● 隅棟部：スレートリッジヒップアンダーフラッシングの加工

- ・スレートリッジヒップアンダーフラッシングの下部を左図のように加工します。

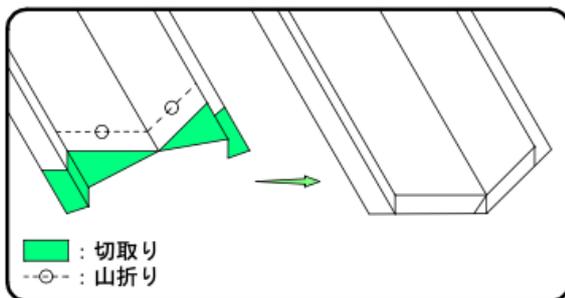


● 隅棟部：スレートリッジヒップアンダーフラッシングの取付け



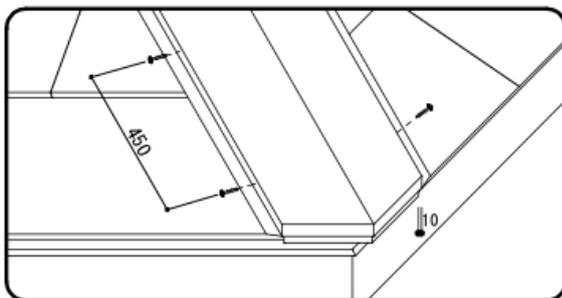
- ・スレートリッジヒップアンダーフラッシングを隅棟のセンターラインに正確に合わせて、450ミリピッチの専用ファスナーで取り付けます。

● 隅棟部：スレートリッジヒップアンダーフラッシングの加工



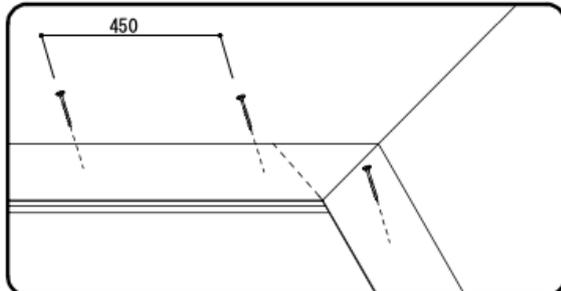
- ・スレートリッジヒップスタンダードキャップの下部を左図のように加工します。
- ・先端部は左右の材料を重ね合わせてふさぎます。

● 隅棟部：スレートリッジヒップアンダーフラッシングの取付け



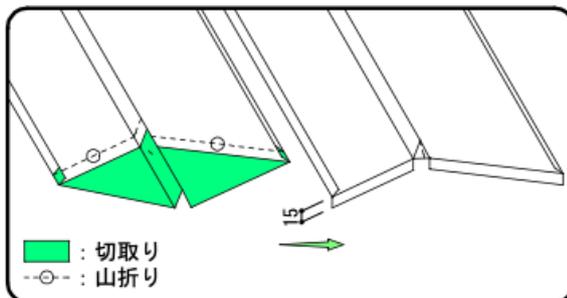
- ・剣先部を箱型に加工したスレートリッジ／ヒップスタンダードキャップをスレートリッジ／ヒップアンダーフラッシングにかぶせるようにはめこみ、450ミリピッチの専用ファスナーで固定します。
- ・剣先部はアンダーフラッシングと、スタンダードキャップの間に10ミリ程度のすき間をつくり、水が抜けるようにします。

●谷部：スレートスターターの取付け



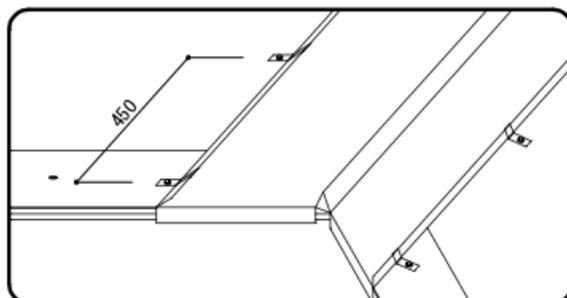
- ・軒先部にスレートスターターを、450ピッチのステンレスコーススレッドで、野地板に固定します。
- ・入隅部の継ぎ部分は左右の材料を重ね合わせます。

●谷部：W谷板の加工



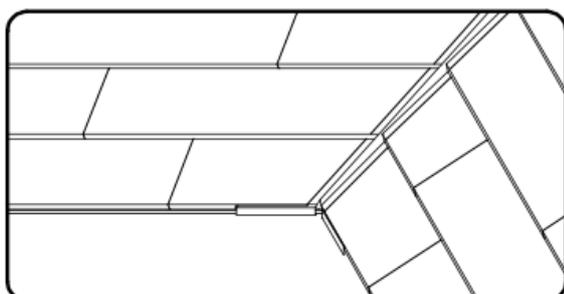
- ・ **W谷板** の下部を左図のように加工します。

●谷部：スレートバレーの取付け

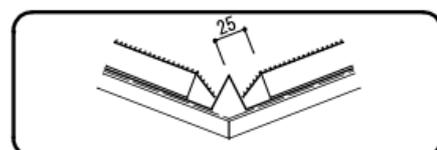


- ・ **W谷板** の左右に450ミリピッチに吊り子を取り付け、谷のセンターラインに正確に合わせて、専用ファスナーで野地板に固定します。

●谷部：スレートパネルの取付け

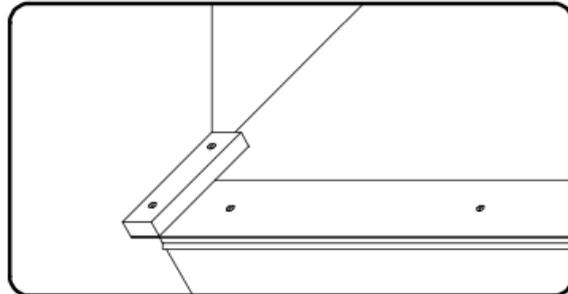
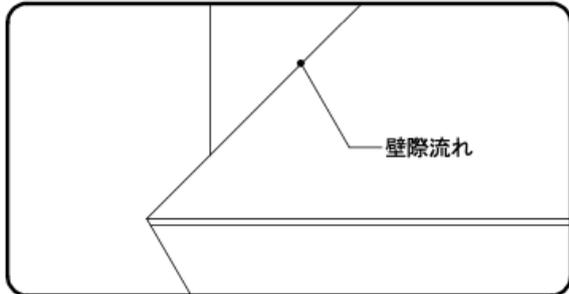


- ・ **W谷板**のセンターの山に合わせて、両側のシングルパネルをカットし、25ミリ巾のノーズインターロックを欠き取り、30° 折り下げます。

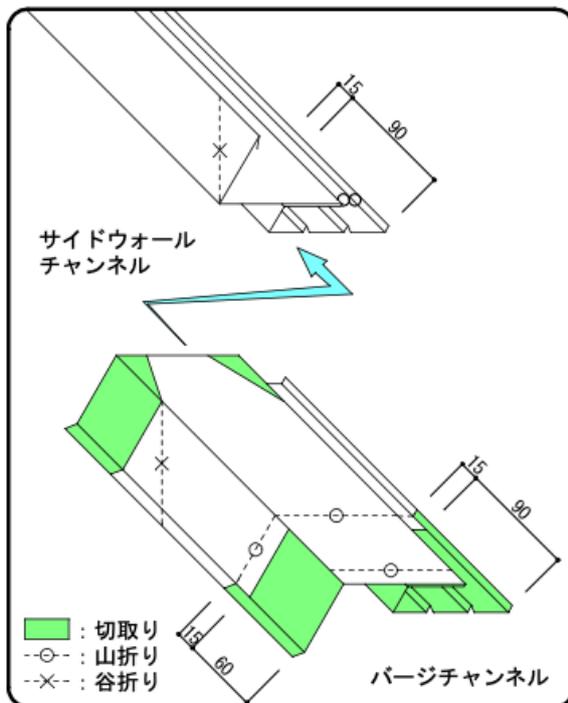
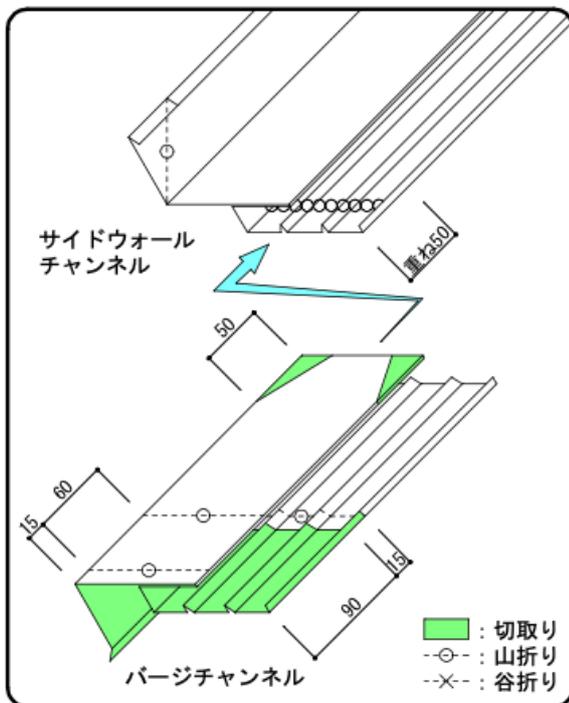




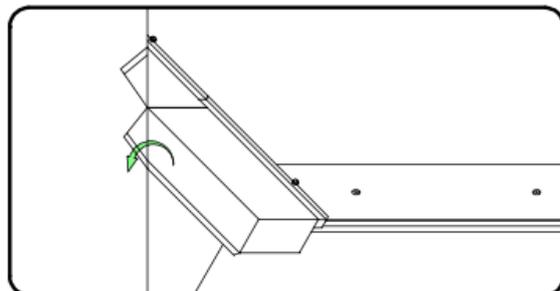
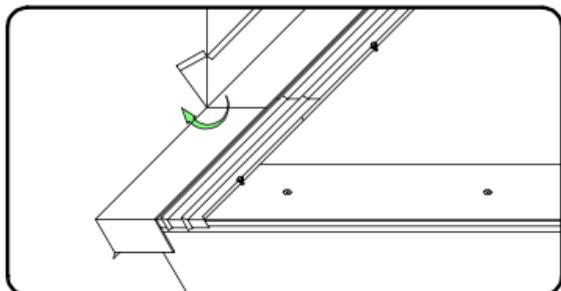
● 壁際流れ部 : 木下地の取付け



● 壁際流れ部 : スレートサイドウォールチャンネルの加工

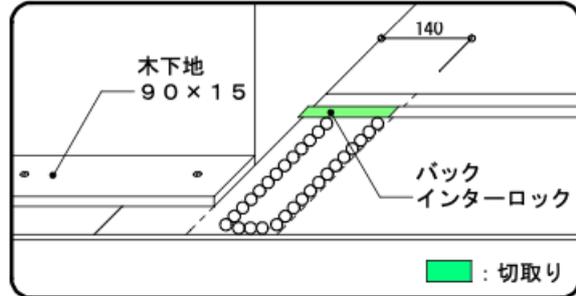
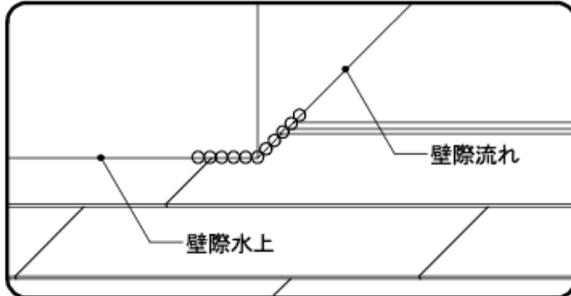


● 壁際流れ部 : スレートサイドウォールチャンネルの取付け

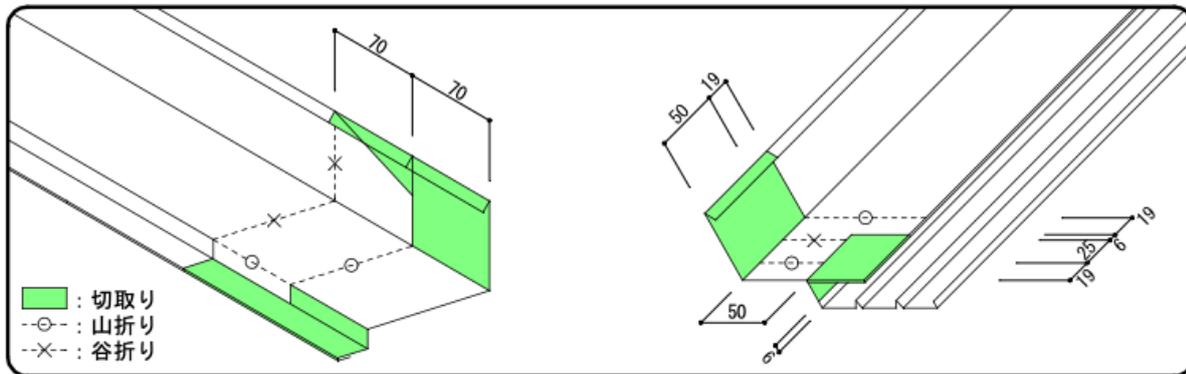




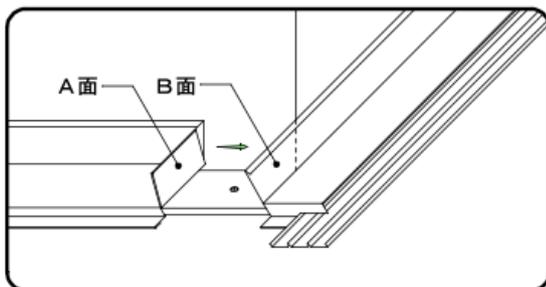
● 壁際水上部：木下地の取付け等



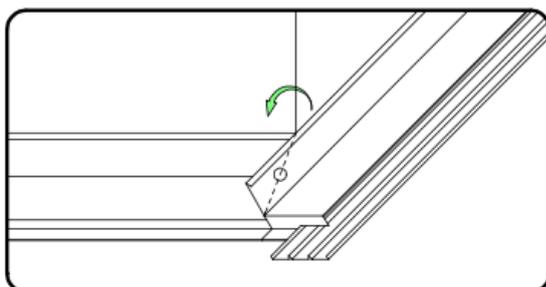
● 壁際水上部：ヘッドウォールフラッシュ・サイドウォールチャネルの加工



● 壁際水上部：ヘッドウォールフラッシュ・サイドウォールチャネルの取付け



ヘッドウォールフラッシングを木下地にかぶせるようにはめ込み、450ミリピッチに専用ファスナーで固定します。



A面とB面を点線の位置でまとめて折り曲げ、カシメて接合し補修キットでタッチアップして仕上げます。